

国内有数の大型エチレンプラント

伝えたい千葉の産業技術 100 選

登録番号	第 0 2 2 号
名称 (型式等)	エチレンプラント (住友化学株式会社千葉工場)
所在地	市原市姉崎海岸 5 番地 1 号
設立年	昭和 42(1967)年

選定理由

エチレンは、合成樹脂や電線被覆、レジ袋で用いられるフィルムなどに用いられる石油化学製品の基礎材料となるもので、私たちの生活に密接にかかわっています。このエチレンを生産する設備がエチレンプラントです。

昭和 33(1958)年わが国最初の石油化学コンビナートが国内 2 か所 (内 1 か所は愛媛・住友化学) に建設され、同時に国産のエチレン、ポリエチレンなどの生産が開始されました。

高度成長とともに工業化を進めた本県においても、昭和 42(1967)年に市原市姉崎海岸に住友化学株式会社千葉工場に年間 12 万トンのエチレンプラントが建設されました。続いて、昭和 45(1970)年には年間 30 万トンのエチレンプラントを建設し、国内有数の生産拠点として活躍しました。しかしながら、設備の老朽化とエネルギーの効率化を考慮し、現在、その役目を終え生産停止し、解体作業を行っています。

操業開始から 50 年近く稼働し、県内石油化学事業の大きな役割を担った大型エチレンプラント解体事業の記録は、産業技術資料として大変貴重なものです。



写真 1 : 解体状況①



写真 2 : 解体状況②



写真 5 : 保存される
ピープドア



写真 3 : 解体状況③



写真 4 : 解体状況④



写真 6 : 保存される
バーナー部

協力 : 住友化学株式会社千葉工場

撮影 : 平成 29(2017)年